文部科学省　先端研究施設共用促進事業

広島大学　『生体反応および生命維持機構検出システム研究促進事業』

　　　平成26年度　利用成果報告書【記入例】

平成26年○月○日

|  |  |
| --- | --- |
| 所属（申請および利用時） | ※所属先が申請および利用時と異なる場合　現在の所属： |
| 氏名 |  |
| 研究課題名 |  |
| 設備名 |  |
| 利用期間 | 平成○年○月○日～平成○年○月○日 |
| 研究目的 | ※「研究目的」から「成果の概要」については、図表を入れ、最低2千文字以上で記載すること。 |
| 成果の概要(実験・解析方法、結果及び考察、成果達等 |  |
| 研究達成度について | ※**研究計画書**の16.について達成度を5点満点であてはまる点数に〇をし、達成できた内容をわかりやすく記入すること。　　　　　　　　 　 　　　　　　　　（1）先端性及び科学技術分野の発展性を有する又は新分野開拓への寄与。　　　　　　　　　　　　　　　　　できた　　　　　　できなかった　達成度　　5　　4　　3　　2　　1　　 ・ 該当しない（2）研究成果の基礎的研究や技術開発分野への貢献。達成度　　5　　4　　3　　2　　1　　 ・ 該当しない（3）研究成果が産業基盤技術としての重要性及び発展性。達成度　　5　　4　　3　　2　　1　　 ・ 該当しない（４）研究課題が社会的意義を有し、かつ、社会経済への寄与。達成度　　5　　4　　3　　2　　1　　 ・ 該当しない達成できた内容達成できなかった内容 |
| 社会・経済への波及効果の見通し |  |
| 今後の利用計画 | ※利用期間の継続、情報の開示に関する考え方などについて記載すること。（終了の際は公開、または非公開について） |
| 成果公開について | 該当する物にいずれかに○を記載（　　）学会発表(口頭)（　　）学会発表（ポスター発表）発表題目：発表者：発表した場所（学会等名）：発表した時期（平成　　年　　月　　　日）国内/国外の別：（　　）論文発表　掲載した論文（発表題目）：発表者名：発表した場所（学会誌・雑誌等名）：発表した時期：国内・外の別（　　　）その他具体的に： |
| 知的財産権の有無 | （　　）有　または　（　　）無　　（いずれかに○、有の場合以下を記入）実施年度：発明者：出願人：特許登録区分：　　　　　　　　　　※“出願”または“登録”のいずれか出願番号（出願日）：出願区分：　　　　　　　　　　　　※“国内”、“国外国別”、“PCT”のいずれか出願国：　　　　　　　　　　　　　※出願区分が“国外国別”の場合出願先国名を複数全て記入登録番号（登録日）： メモ |
| アンケート | 1.本共用事業をどのようにして知られましたか？【HP・チラシ・ポスターを見て・紹介（可能であればどこからの紹介か教えてください）・機器説明会で知った等ご記入ください】2.本共用事業を利用された感想を御自由にご記入ください。 |

作成上の留意事項

1. 本利用成果報告書は、その結果を特段の事情がない限り、本事業のホームページ等において公開します。
2. 「設備名」について

本事業で対象としている設備の中から、申請研究に利用する設備を記載すること。

1. 「成果の概要」について
	1. 実験方法

 実施日時、使用装置、材料等も記載すること。また、どのような手順で実験を行ったか、順番に従って記載すること。

* 1. 実験結果

統計的検定結果を記載すること。図表を用いて結果を示す際、何をどのように処理して図表にしたのかを説明し、それに対応する表を示すこと。（図や表には、通し番号を付け、図のタイトルは下に、表のタイトルは上に記載）

[例]　　　表１　○○の平均率

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 男性 | 女性 |
| A | 70.2% | 85.4% |
| B | 68.9% | 80.2% |